

新規就農者が元氣です

全国的に農村では、高齢化兼業化が進み、農業後継者も減少しています。

農業は本町の基幹産業であり、振興を図るうえで若い力は欠かすことが出来ません。

そこで本町では、さまざまな支援策を設けて、新規就農者の育成を進めてきましたが、これまでの3年間に8名の就農があり、更に1名が8月の就農に向けて農家で研修をしているところです。

また新規就農者を対象に、勉強会や技術講習会などを開

催しており、これからの農業者に必要とされる経営者としての資質向上に努めています。

今回、新規就農者を次のとおり紹介いたします。

下松八重 弘三さん（武）

平成12年秋に梅の後継者として就農され、昨年より一次加工を始められました。

椎原 信二さん（北方町）

昨年梅の後継者として就農され、現在は技術の習得と規模拡大を進められているところです。



▲梅の後継者を対象にした剪定講習会の模様

米永 正幸さん（武）

昨年4月にそば・野菜・梨などの後継者として就農され、そばは3ha、露地野菜については、毎週日曜日に鹿兒島市で即売をされています。

宮後 大輔さん（熊田）

昨年梅の後継者として就農。加工場も建設され一次加工も始められています。

下境田 徳造さん（下狩宿）

昨年9月に養豚の後継者として就農。将来の法人化を目指すし、経営の合理化と増頭を進められているところです。

城戸 大作さん（平田）

農業大学と1年間の農家研修を経て、本年4月に花卉専業として就農し、ハウス10aで主にシクラメンを栽培される予定です。

三原 清志さん（北方町）

本年4月に、イチゴ栽培を開始され、更に生産牛の増頭も計画し就農されました。

下長野 卓さん（弓之尾）

昨年、町の梅園リース事業に応募。本年4月に梅の新規参入者として就農され、農業は全く初めてのため、技術を一から学んでいるところです。

そのほか諏訪昭作さん（弓之尾）は、夏の就農を目指し先進農家でトマトの勉強中です。国や県では新規就農対策として無利子資金や研修制度を設けており、町でも各種助成金制度により支援を進めています。

「農業ががんばっていきなさい」という方がいらつしゃれば、役場経済課農政係までお問い合わせください。

集落点検の実施について

農業農村整備事業は、これまで行政主導で推進されていましたが、これからは「住民の参画」により推進されていきます。

農業農村整備事業とは大きく以下の3つに分類されます。

①生産基盤の整備

（ほ場・用排水施設等の整備）

②農村の整備

（集落道路・農道・農村公園等の整備）

③農地等の保全管理

（農地防災・維持管理等）
「住民が参画」する具体的な

方法として、各種事業の中で計画の段階から広く住民に参加してもらい、現状の課題と将来の望ましい姿を作成していくこととなります。そこで、自分たちの集落の現状を知っておくため、それぞれの集落で点検を実施していただき、みんなで地域の将来等について話し合いをしておいてください（これを集落点検といいます）。

実施内容・方法等については、経済課耕地係（田中・松山）までご相談ください。



▶尾原の集落点検の模様